令和8年産レンゲ減減栽培研究会「夢つくし」

（ ５月１６日 播 種 ）
（ ６月 ９日 田植え ）

栽　培　暦

北九州普及指導センター
ＪＡ北九

月	4月	5月			6月			7月			8月			9月		
旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
水管理						浅水	間断かん水		中　干　し		間断かん水			間断かん水		落水
生育ステージ			播種 5/16頃			田植 6/9頃			有効分けつ終期 −35日 −30日 −25日 −20日		幼穂形成期		−10日	出穂期 8月10日頃 0	穂揃期	刈取 9月10日～14日頃	成熟期	秋耕
管理のポイント			一箱当り150g播き（乾籾）			50株／坪 3～4本／株			＊1株20本程度を目安に中干し開始									
病害虫																		
防除農薬																		
成分数																		

管理のポイント

- ● レンゲ鋤き込み
- ● 60℃10分 種子消毒（温湯消毒）
- **基肥** 有機特栽米基肥 ０１７号 0～40kg（10a当たり）
- 又は
- **基肥一発** （一発肥料）有機エムコート ２５６号 40～60kg（10a当たり）
- 除草剤散布
- ＊浅水管理でスクミリンゴガイの食害を抑える
- 中干し 倒伏防止をめざす
- ＊溝切をして、根の活力維持と
- **穂肥** 有機特栽米追肥 ０４７号 0～30kg（10a当たり）
- ＊中干しは出穂25日前までに完了
- ＊出穂前の畦畔除草をする
- **最も水が必要な時期**
- 夢つくしの生育量・葉色に応じて調整
- レンゲの生育量に応じて調整
- ＊落水はなるべく遅くする
- 収穫後の耕起
- ○収穫後早めの耕起
- **土づくり** 土壌改良材の施用 堆肥投入
- レンゲ播種

病害虫

- イネシンガレセンチュウ 苗立枯細菌病 いもち病 ばか苗病
- 苗立枯病
- ウンカ類 イネミズゾウムシ いもち病
- ジャンボタニシ スクミリンゴガイ
- （イネカメムシ）斑点米カメムシ類
- ウンカ類（イネカメムシ）斑点米カメムシ類
- 穂いもち 紋枯病 ウンカ類 斑点米カメムシ類 イネカメムシ

《注意点》

☆ 中干し以降はカメムシによる斑点米発生予防の重要な時期です。
◆ 早めの畦畔雑草の除草を行い、薬剤防除により発生密度を下げる。
◆ 出穂後の畦畔除草はしないこと。（カメムシが水田に侵入する）

防除農薬

●種子消毒 温湯消毒（必須要件）

- カスミン液剤（必要に応じて）
- タチガレン液剤（必要に応じて）
- **重要** 防人箱粒剤 / フルスロットル箱粒剤
- **除草剤**（左記2剤のいずれか使用）
  - ゼータプラスジャンボ
  - ゼータプラスFG剤
  - ゼータプラス1キロ粒剤
- **中後期除草剤**（左記3剤のいずれか使用）
  - スクミンベイト3
  - スクミノン
- （必要に応じていずれか使用）
  - クリンチャー1キロ粒剤
  - バサグラン液剤
  - ロイヤント乳剤
- （左記3剤のいずれか使用）
- **本田防除①**
  - 粒剤：ゴウケツモンスター
  - 又は
  - 粉剤：ブラシントレバリダ
  - 又は
  - 液剤：ダブルカットバリダフロアブル ＋ アルバリン顆粒水溶剤 ←選→ エクシードフロアブル
  - 又は
  - 航空防除：ダブルカットバリダフロアブル ＋ エクシードフロアブル
- （右記3剤のいずれか使用）
- **本田防除②**
  - アルバリン粉剤DL
  - アルバリン顆粒水溶剤
  - スタークル豆つぶ
- **航空** スタークル液剤10

アルバリン・スタークル剤はミツバチへの影響が懸念されますので、散布時期・時間帯には十分注意を願います。

散布時期：出穂前又は出穂10日頃以降

散布時間帯：稲の花が咲く午前は避けて午後から散布する。

成分数

カスミン液剤	タチガレン液剤	防人箱粒剤	フルスロットル箱粒剤	ゼータプラスジャンボ	ゼータプラスFG剤	ゼータプラス1キロ粒剤	スクミンベイト3	スクミノン	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン液剤	ロイヤント乳剤	ゴウケツモンスター	ブラシントレバリダ	ダブルカットバリダフロアブル	アルバリン顆粒水溶剤	エクシードフロアブル	ダブルカットバリダフロアブル	エクシードフロアブル	アルバリン粉剤DL	アルバリン顆粒水溶剤	スタークル豆つぶ	スタークル液剤10
0	1	3	4	2	2	2	1	0	1	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1

左の成分数の合計が10成分以下